

迷走神経刺激療法 (VNS)

～私の経験から～

迷走神経刺激装置というものをご存じでしょうか。縦横5～6 cm程の機械を埋め込み、首の左側にある迷走神経にコイルを巻き付け、周期的に電流を流して脳に刺激を与える装置です。周期的な電流の他に心拍の上昇を感知すると流れる電流もあります。手術名は「迷走神経刺激装置埋め込み術」。そしてこの療法が迷走神経刺激療法です。術前には数日検査入院をします。

略してVNS(Vagus Nerve Stimulation)といわれるこの治療法は、てんかんを根治するための治療法ではなく緩和療法なので、手術を行ったからといって発作がもう起きなくなるという類のものではありません。発作を起こす可能性を少しでも下げるための治療法です。現在主流の治療法は薬剤治療ですが、完全に発作を抑えることは難しく、発作が起きてしまうこともあります。その薬剤治療で抑えきれない部分を抑えることができるかもしれないのがVNSです。

手術後は、装置の位置を固定するために肩から逆側の脇の下まで大きいベルトをまくのですが、ベルトをまいている間は痒みが強く、異物感等は特にありませんでした。ベルトが取れたあとは少し異物感を感じましたが、一週間程経過するころには体の一部として気にならなくなっていました。

装置を埋め込む前と後で生活がどう変わるかですが、基本的に周囲の人が違いに気付くことはないと思います。首に巻かれたコイルは皮膚の下に隠れているのでよく見なければ気付くのも難しく、装置が埋め込まれている部分は少し膨らんでいますが、こちらも目立つ程ではなく、服を着ていれば周囲の人が気付くことはまずないでしょう。左脇のすぐそばには装置を入れるために切開し、縫った痕がありますが、大きさは縦に4～5 cm程でこちらも目立ちません。

日常生活で気付かれる可能性があるとしたら首のコイルと縫い痕かと思いますが、ですが私は付き合いの長い友達にさえ気づかれませんでした。自分で場所を教えてやっと気づいてもらえ、装置に至っては服を脱いで見やすくしても分かりにくいと言われた程です。

VNSの更なるメリットとして、個人差はあるようですが記憶力の向上も期待できるそうです。発作に対してだけではなく、その他の部分に対しての効果も期待できるのであるならば、発作の抑制に止まらない効果を発揮するVNSという治療法はてんかん患者にとって、発作以外で苦勞していた部分も改善できる可能性をもつ治療法なのではと一人の患者として感じています。

手術後、体に装置を固定したら VNS が始まります。

まずはコイルに流す電流の強さを担当医と相談しつつ決めます。最初は喉にビリビリとした違和感があり、咳込むかと思います。ですが痛みはなく、長くても 10 秒程度ですぐに治まりました。次に、体に負担がかからず効果を発揮できる電流の強さを探っていきます。電流の強弱は、担当医が持つ専用の機械でいつでも変えられるので生活する中で支障があった場合や、逆にもっと強くしたいと思ったら診察の際に相談するといいいでしょう。

私が思う日常生活での一番厄介な点は、喋っている途中に電気が流れると、声を出しにくくなって声が途切れる点です。特に長時間喋る場合等は辛くなるかもれません。しかしそのような場面を想定し、対応策が用意されています。手術後に腕時計型の真っ黒なマグネットを渡されるのですが、これを数秒胸の上から装置にあてることで電流を一時的に止めることができます。そして流すときは短くあてるだけです。長時間喋る必要がある場合はこのマグネットを使うことで声の出しにくさが改善できます。

もう一つ感じやすい変化を挙げると、運動時に息がきれやすくなることです。

気付かないうちに電流で息が乱れるのか、気付くと呼吸が浅く速くなることが多いです。その状態から更に負荷をかけて過呼吸になったこともあります。ですが、日常生活では支障なく、どの程度の運動でどれだけ変化があるかを把握し、無理に負担をかけなければ過呼吸になることもありません。

装置は取り替え式で、設定した電流の強弱によって電池が無くなるまでの期間が変わります。無くなると再手術になりますが、**3.0mA** で約 2 年、私が現在使用している **0.625mA** だと 10 年近く無くなることはありません。充電の仕方等進化の可能性が今現在も模索されているようです。

てんかんの発作は様々な種類がありますが、私の様に体全体が発作の対象になり、意識も唐突に途切れる場合は、怪我をすることも珍しくありません。私は、髪を切っている最中に発作が起き、ハサミが頬を切って今も少しだけ傷痕が残っています。もし眼球に当たっていたら失明もありえたでしょう。

「もしも今発作が起きたら」そう考えると危ない場面は多々あります。

発作が影響を及ぼすのは肉体ではありません。発作を見て急に態度を変えられてはショックを受けるというものです。仲の良かった友人が態度を変え、疎遠になれば治らぬ深い傷として一生残るのは想像に難くないでしょう。

私も友人の前で頻繁に発作を起こしていた時期は肉体・精神共に削られていました。発作の1回はただの1回ではありません。1回でその後の人生を大きく左右することもあります。そんな発作を防ぐ可能性を持つVNSを今後てんかん患者のみならず、多くの人に知ってほしいと、一人の人間としても考えています。